

第 28 回（平成 30 年度）
全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会
開 催 要 綱

地域包括ケアシステムの深化の姿を探る～地域共生社会の理解と実践～

1. 趣 旨

誰もが安心して暮らすことができるよう、各地において地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組みが求められています。

地域包括ケアシステムの構築にあたって中核的な役割を期待されている地域包括・在宅介護支援センターでは、これまでも地域の身近な相談機関として相談支援と地域の実情に応じた地域づくりを関係機関や住民とともに進めてきました。

地域住民が直面する課題が複雑多様化するとともに、社会や家族形態の変容により地域における支え合いの仕組みづくりが求められているなか、地域包括・在宅介護支援センターでは、専門職としての気づきから必要な支援につなげるための、住民に寄り添った相談支援と多様な機関との連携がますます重要となっています。

本研究大会は、全国の地域包括・在宅介護支援センターの関係者が集い、制度動向を学ぶとともに、様々な地域課題や施策に即した地域づくりの実践等を共有し、地域住民や関係機関等との連携のあり方や、これからの地域包括・在宅介護支援センターが果たすべき役割について考えることを目的に開催します。

※本研究大会は、主任介護支援専門員更新研修の受講要件である「法定外の研修等」に該当する場合があります。詳細は都道府県の当該受講要件をご確認ください。

2. 主 催 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、全国社会福祉協議会

3. 共 催 三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会

4. 協 力 東海北陸ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会

5. 後 援 厚生労働省、三重県、四日市市、三重県社会福祉協議会、
四日市市社会福祉協議会、全国老人福祉施設協議会、全国老人保健施設協会、
日本医師会、三重県老人福祉施設協議会、三重県老人保健施設協会、
三重県医師会、三重県看護協会、三重県介護支援専門員協会、
三重県社会福祉士会、三重県歯科医師会、三重県薬剤師会

6. 期 日 平成 30 年 10 月 25 日（木）・26 日（金）

7. 会 場 四日市都ホテル
〒510-0075 三重県四日市市安島 1-3-38 TEL: 059-352-4131

8. 参加者 定員 500 名（定員になり次第締め切り）

(1)会員センター職員

(2)都道府県・指定都市地域包括・在宅介護支援センター協議会役職員

(3)自治体職員、地域包括支援センター・在宅介護支援センター関係者、
居宅介護支援事業関係者 等

9. 参加費 会員 9,000 円（上記(1)(2)） 会員外 12,000 円（上記(3)）

10. 日 程

	12:15	13:00	13:40	14:40	15:05	15:20		17:30	18:30	20:00
第1日 10/25(木)	受付	開会式 (40分)	行政説明 (60分)	基調報告 (25分)	休憩	シンポジウム (130分)		休憩	情報交換会	
	9:00	9:30		11:30	12:30		14:30	14:35		
第2日 10/26(金)	ポ ス ター セ ッ シ ョ ン	実践報告①② (120分)	昼食休憩 (60分) (ポスターセッション)	分科会①② (120分)	閉 会					

※第2日9:00～9:30、11:30～12:00はポスターセッション発表者がポスター前にて質疑対応を行います(自由参加)

11. プログラム

【第1日：10月25日（13：00～17：05）】会場：四日市都ホテル

◇開会式（13：00～13：40）

開会宣言 三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長 鈴木 廣子
主催者挨拶 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長 青木 佳之
社会福祉法人全国社会福祉協議会 常務理事 寺尾 徹
来賓挨拶

◇行政説明（13：40～14：40）

「地域包括ケアシステムの深化にあたって地域包括・在宅介護支援センターに
期待される役割」

厚生労働省老健局 振興課長 尾崎 守正 氏

◇基調報告（14：40～15：05）

「地域包括・在宅介護支援センターが地域の期待に応えるために」

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長 青木 佳之

◇シンポジウム（15：20～17：30）

「地域共生社会の実現に向けた、地域における包括的支援体制のあり方を考える」

ねらい： 地域共生社会の実現に向けて、必要な支援を包括的に提供するという地域包括ケアの考え方を、障害者、子ども等への支援や、いわゆる8050問題といった複合課題にも広げ、地域においてより包括的な支援体制を構築することが求められている。そこで、地域住民が抱える複合的な課題や、そうした課題に対して多様な関係者と連携して支援する関係機関等の取り組みを学び、地域包括・在宅介護支援センターの役割等について考える。

シンポジスト 特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会
本部事務局・ソーシャルワーカー（社会福祉士） 深谷 守貞 氏
公益社団法人地域医療振興協会
三重県立志摩病院地域連携センター
センター長 前田 小百合 氏
愛知県 東浦町社会福祉協議会 事務局長補佐
東浦町高齢者相談支援センター（東浦包括支援センター）
センター長 高見 靖雄 氏
ファシリテーター 広島県廿日市市社会福祉協議会 会長
広島文教女子大学 元教授 蛭江 紀雄 氏

◆情報交換会（18：30～20：00） 会場：四日市都ホテル

※参加ご希望者は申込書に記載してください。

【第2日：10月26日（9：30～14：35）】会場：四日市都ホテル

◇実践報告（9：30～11：30）

※2つのテーマ・会場に分かれ、それぞれで実践報告を行います。

実践報告1「住民に身近な地域における相談機能の強化について」

ねらい： 地域共生社会の実現に向けては、住民の身近な地域において包括的な相談支援体制を構築することが求められている。地域包括支援センターおよび在宅介護支援センターによる取り組み事例から、地域における相談体制のあり方やセンターの役割について学ぶ。

報告者 岐阜県 大垣市社会福祉協議会 常務理事・事務局長
（地域包括支援センター大垣市社会福祉協議会）
早崎 正人 氏
東京都 鶴川あんしん相談室
主任・見守り相談員 蒲生 志穂 氏
富山県 ふるさと病院在宅介護支援センター
認知症地域支援推進員 高澤 正三 氏
ファシリテーター 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 研修委員会専門委員
（社会福祉法人三草会 札幌市東区第2地域包括支援センター センター長）
村山 文彦

実践報告2「住民による支え合いの仕組みづくりについて」

ねらい： 地域共生社会の実現に向けては、住民や地域の関係機関が地域課題を共有し、住民が互いに支え合う仕組みづくりを通じた地域力の強化が求められている。地域包括支援センターの取り組み事例から、地域の実態に応じた住民の支え合いのあり方やそうした仕組みづくりにおけるセンターの役割について学ぶ。

報告者 北海道 社会福祉法人 東旭川宏生会
旭川市新旭川・永山南地域包括支援センター
センター長 田中 誠康 氏
東京都 日野市地域包括支援センター多摩川苑
認知症地域支援推進員 坂本 光徳 氏
大阪府 八尾市地域包括支援センターりゅうげ
看護師 中野 恵 氏
ファシリテーター 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 研修委員会専門委員
(広島県 介護老人保健施設みつぎの苑 社会福祉士) 山本 明芳

◇分科会（12：30～14：30）

※2つのテーマ・会場に分かれ、講義および実践報告、意見交換を行います。

分科会1「認知症の高齢者等や家族を支えるために」

ねらい： 平成30年度より本格的に認知症初期集中支援チームが動き出したほか、地域全体で認知症の高齢者等や家族を支える取り組みが進められている。あらためて認知症の高齢者等や家族を地域で支える仕組みづくりの大切さとともに、地域包括・在宅介護支援センターが担うべき役割等について考える。

報告者 三重県 四日市市北地域包括支援センター
初期集中支援チーム 看護師 森 ゆかり 氏
社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会
常務理事 平井 俊圭 氏
講師・ファシリテーター 桜美林大学大学院 教授 白澤 政和 氏

分科会2「一人暮らし高齢者が地域で住み続けるために」

ねらい： 社会や家族形態の変容に伴い、地域で暮らす人々の住まい方、生き方は多様性にあふれている。とくに一人暮らし高齢者が安心して地域で住み続けるために、地域のあり方や住民、地域包括・在宅介護支援センターを含めた関係機関等が担うべき役割等について考える。

報告者 NPO 法人ライフサポート三重西 事務局長 菅瀬 博文 氏
医療法人 SIRIUS いしが在宅ケアクリニック
副院長 門間 文彦 氏
講師・ファシリテーター 三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会
顧問 西元 幸雄 氏

◇閉 会 (14 : 30~14 : 35)

◆ポスターセッション (大会期間中開催)

大会期間中、ポスター掲示により各地の地域包括・在宅介護支援センターの活動紹介を行っています。なお、本年度は大会第2日の下記の間時間帯において、ポスターセッション発表者がポスター前にて質疑対応を行います。

【ポスターセッション発表者による質疑応答対応時間】

10月26日(金)開会前(9:00~9:30)および昼食時間内(11:30~12:00)

12. 参加申込み方法

本大会は、「名鉄観光サービス株式会社」と「個人情報保護における取扱契約」を交わした上で、同社に「参加申込・参加費の收受代行及び宿泊の手配業務等」を委託しています。本大会への参加申込みおよび宿泊等の申込みは、別紙「参加・宿泊等申込書」により行ってください。なお、申込みは先着順に受け付け、定員に達した場合は締め切らせていただきます。

(1) 参加および宿泊等の申込みは、**10月3日(水)**までに「名鉄観光サービス株式会社 津支店」宛に行ってください。申込書受領後、開催日の1週間前を目途に、同社より「参加券」、「宿泊券」等および請求書をお送りいたしますので、届き次第、同社宛にお振込をお願いいたします。

(2) 宿泊等を希望しない参加者につきましても、必ず同封の申込書により参加の手続きを行ってください。

13. ポスターセッションの実施について

全国の地域包括・在宅介護支援センターの活動報告や事例紹介、または調査・研究の成果や課題を相互に発表し、情報・意見交換と交流を深めることを目的にポスターセッションを実施します。発表掲示ができる方は、前項の参加申込みを行ったうえで、別紙要領にもとづき別途事前申し込みの手続きを行ってください。

また、会場内の掲示スペースには限りがあるため、応募多数の場合はお断りする場合があります。申し込みの承認を必ずご確認ください。なお、申し込みが承認された方(代表者1名のみ)は、参加費(9,000円:会員のみ)を免除します。

14. 主任介護支援専門員更新研修受講のための証明書発行について

都道府県における主任介護支援専門員更新研修受講のため、本研究大会の修了証明が必要な場合には、当日、受付にてその旨お申し出ください。受付にて、あらためて修了証明発行に係るご案内をいたします。なお、更新研修受講要件等の詳細は都道府県担当課にお問い合わせください。

15. 参加の取り消し

参加費入金後の参加の取り消しの際は、大会終了後、「大会参加券」と引き換えに資料を送付いたします。

16. 個人情報の取り扱いについて

本大会「参加・宿泊等申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的のみに利用させていただきます。申込者、参加者にかかる個人情報は、本会「個人情報保護に関する方針等について」に基づき、適切に取り扱うこととしており、他の目的で使用することはありません。

なお、本大会の参加者名簿には「都道府県・指定都市名」「氏名」「所属名」「役職名」を記載します。

17. 参加・宿泊等申込先

名鉄観光サービス株式会社 津支店（担当：鉞田(おのだ)、穂積(ほづみ)、高橋)

〒514-0004 三重県津市栄町 3-141-1 モアビル 5階

TEL 059-225-7676 FAX 059-225-7633 Email : zaikaikyo.mie@mwt.co.jp

（営業時間 9：00～17：30 *土・日・祝日は休業日とさせていただきます。）

18. 内容に関する問合せ先

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会事務局（担当：松山）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

社会福祉法人全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部内

TEL : 03-3581-6502 FAX : 03-3581-2428 Email : z-konen@shakyo.or.jp